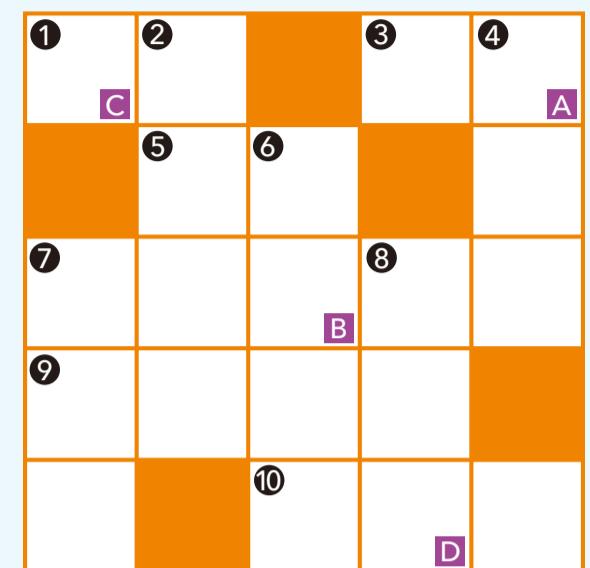


PRESENT QUIZ プレゼントクイズ

クロスワードを解いてA~Dの文字を順に並べてできる言葉をお答えください。



ヨコのカギ

- ① 酢など味をつけたご飯(シャリ)に魚介類などの具材(ネタ)を組み合わせた料理
 ③ 身体を洗い、温まる設備。冬至にはゆずをいれる。
 ⑤ 海水を乾かしたり煮詰めたりしてできる結晶。食品の保存や加工、味付けなどに使う。
 ⑦ 医者が心臓や肺の音などを聞くときに使う道具「〇〇〇〇器」
 ⑨ ドラマや舞台で役を演じる人
 ⑩ 床や畳に座る時に使う、高さの低い背もたれ付きの椅子

タテのカギ

- ② デパートの地下などで食品を味見すること。
 ④ 夢や冒険などへのあこがれ。古代遺跡には夢と〇〇〇が詰まっている。
 ⑥ 西洋占星術で4月20日から5月20日頃が誕生日の12星座の一つ。
 ⑦ 加工するとおいしい飲み物になる葉。静岡が有名な産地
 ⑧ 内気で恥ずかしがり屋な性格を英語で。



応募方法

下記のすべての項目を2次元コードから、回答フォームにご入力のうえご応募ください。



さがみの水 クイズ 検索

- ① クイズのこたえ ② 郵便番号 ③ 住所 ④ 氏名 ⑤ 年齢
 ⑥ 電話番号 ⑦ さがみの水 Vol. 98へのご意見、ご感想、ご質問

正解者の中から、抽選で50名さまに県営水道オリジナルマイボトル(ステンレス製)を、プレゼントいたします。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

応募締切 2026年1月13日(火)



ハガキでのご応募は上記のすべての項目をご記入のうえ、次のあと先へお送りください。(当日消印有効)
 〒231-8588(住所は省略できます)

県企業庁経営課管理広報グループ プレゼントコーナー係

ご記入いただいた個人情報は厳密に管理し、本事業以外に利用したり、第三者に開示・提供することはありません。

流木および流木チップ無料配布!

城山ダム・相模ダムでは、ダムに流れ着いた流木とその流木を碎いたチップを無料で配布しております(平日のみ)。チップをトラック等により持ち帰る方は、飛散防止シート等の用意をお願いします。配布場所などの詳しい情報はお問い合わせください。



神奈川 流木チップ 検索

お問い合わせ

相模川水系ダム管理事務所(平日 午前8時30分~午後5時15分)

城山ダム ☎ 042-782-2831 (代表) 相模ダム ☎ 042-684-3521 (代表)

漏水調査にご理解・ご協力を



県営水道では、道路内や宅地内(水道メータまで)の水道管の水漏れを発見するため、委託した民間業者の調査員による漏水調査を行っています。調査員は県営水道が発行した顔写真入りの業務委託従事者証明書を携行し、腕章を着用しています。これらの調査で費用を請求することはございません。不審な点がありましたら、お近くの水道営業所へお問い合わせください。

漏水を見つけたときは

道路など地面から水が出ているのを発見したときは、お近くの水道営業所(夜間・休日は神奈川県営水道緊急ダイヤル)までご連絡ください。

水道営業所(平日 午前8時30分~午後5時15分)

相模原水道営業所 ☎ 042-755-1132 平塚水道営業所 ☎ 0463-73-6122
 相模原南水道営業所 ☎ 042-745-1111 厚木水道営業所 ☎ 046-224-1111
 津久井水道営業所 ☎ 042-784-4822 海老名水道営業所 ☎ 046-234-4111
 鎌倉水道営業所 ☎ 0467-22-6200 大和水道営業所 ☎ 046-261-3256
 藤沢水道営業所 ☎ 0466-27-1211 箱根水道センター ☎ 0460-82-4306
 茅ヶ崎水道営業所 ☎ 0467-52-6151

神奈川県営水道緊急ダイヤル(※夜間・休日等のみ)



ナビダイヤル ☎ 0570-032119

受付: 月~金曜日/午後5時15分~翌日午前8時30分
 土曜・日曜・祝日及び年末年始(12/29~1/3) / 午前8時30分~翌日午前8時30分

#ともに生きる社会かながわ憲章

県と県議会は、ともに生きる社会の実現をめざし、「ともに生きる社会かながわ憲章」を策定しています。

企業庁のホームページ
神奈川企業庁 検索【編集・発行】神奈川県企業庁経営課
〒231-8588 横浜市中区日本大通1
☎ 045-210-7215

広報紙「さがみの水」は、ポスティングでお届けするほか、水道営業所、県営水道給水区域内の市町の窓口や郵便局などにも置いてあります。



さがみの水

県営水道は「AI」を駆使して
漏水を発見する共同研究を始めました!

県営水道は、1933年に事業を開始し、県民の皆様の生活と産業の発展を支えるため、安全で良質な水を安定的に供給してきました。

現在、県内には全長9,450kmを超える水道管が張り巡らされています。そのうち県内人口が大幅に増加した時期(1970~1990年)に大量に整備した水道管約4,300kmが、今後の40年間で更新時期をを迎えます。老朽化した水道管は、腐食などによって漏水のリスクが高まります。

もし漏水が発生すると、断水などにより、皆様の日常生活に大きな影響を及ぼすほか、道路の陥没や浸水といった事故につながりかねません。

そこで県営水道は、水道管からの漏水を早期発見するための対策として「AI技術」に注目し、AIを駆使した「漏水音の判定」と「管路の劣化診断」の2つの研究を始めました。今回は「漏水音の判定」についてAI技術がどのようにかかわっていくのか、次のページで見てみましょう。



これまでの人の感覚に頼る方法だけでなく、未来に向けたAIの導入などの研究も進めています。

漏水調査の方法と課題について

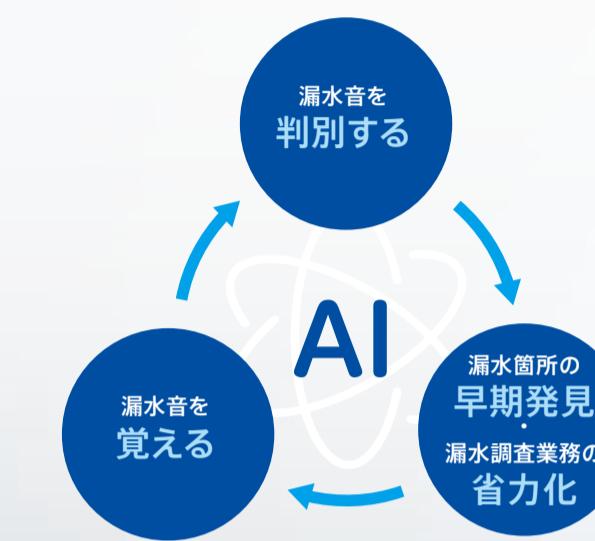
現在の漏水調査は、地中の漏水音を聴き取る機器(音聴棒)を使って水道管につながっているバルブや水道メーターの音を人の耳で聞いて漏水範囲を絞り込み、その後、漏水探知器を使用して漏水位置を特定しています。しかしながら、漏水音を周囲の車の騒音や川・下水などの水の音と聞き分けるには高度な技能と経験が必要となるので、経験の浅い技術者では漏水箇所の特定が難しいという課題があります。

さらに、今後は漏水調査における技術者不足も見込まれるため、熟練技術者が持つ高度な技能が失われてしまう恐れがあります。

この課題に対処するため、漏水音をAIに学習させています。そうすることで、将来的には熟練した技術者に頼らず漏水調査が実施できるようになる可能性があります。AIの共同研究は漏水調査における様々な課題を解決していくために、重要な役割を果たしていくことが期待されています。



AI活用のイメージ



従来の漏水調査



今回の共同研究



鎌倉市内で発生した漏水事故について



令和7年6月28日(土)の午前1時頃、鎌倉市浄明寺2丁目地内で水道管の漏水事故が発生しました。原因となった水道管は、昭和39年に布設された直径25cmの鉄管です。管の継ぎ手部のボルトが腐食により破損し、離脱したことによるものでした。この修理のため、鎌倉市内の一部の区域で約1万戸が9時間にわたり断水しました。

県では総勢129名の職員が対応にあたり、濁った水の排出作業を行い、当日中に復旧することができました。また、鎌倉市等の関係機関の協力を得ながら、給水車19台により10か所で応急給水を行うとともに、

給水所へ来られない方には応急給水袋をお届けするなどしました。

この事故により、住民の方々、飲食店や観光施設、さらには多くの観光客の皆様にも多くなご迷惑とご不便をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。今回、事故の原因となった現場の鉄管は、昨年度から更新工事を進めていたところですが、着実に工事を実施し、令和8年度中の完成を目指していきます。



今回は、AIを使用した研究を県営水道と進める水道テクニカルサービス株式会社 大島さんと未来の「漏水調査」の可能性についてお話をしました。

Q. AIが漏水を発見する仕組みを教えてください

A.

大島) AIが漏水特有の音波を解析することで、漏水の有無を判定します。音聴棒や漏水探知器に収音器を取り付けて収集した音データから、AIが漏水音を識別して漏水箇所を特定します。人の耳では聞き取れない微弱な音も検知できるため、より早期に漏水を発見することが可能になります。

Q. 漏水調査における技術者のスキルをどのように考えますか?

A.

大島) AI技術が発展していく中にあっても、人による漏水調査技術は受け継いでいくべきだと感じています。そのため、熟練技術者から中堅・若手技術者への技術継承が重要と考えます。

大野) 県営水道では、技術職員を対象に漏水調査技術の研修を実施しています。研修の成果を日常の業務で活用とともに、災害対応力の強化に向けて、日々、技術の研さんを励んでいます。

Q. AIを活用した漏水調査の将来像について教えてください

A.

大島) まずは、熟練技術者の技能とAIのそれぞれの強みを生かしながら、人とAIが共存するようなイメージを持っていますが、将来的には、漏水調査の経験が浅い方でも漏水の発見から漏水箇所の特定ができるようAIの精度を高めていきたいと考えています。

大野) 漏水を早期発見するための一つのツールとしてAI技術を活用し、漏水の発見精度をより高めていきたいですね。



鎌倉市内で発生した漏水事故について



令和7年6月28日(土)の午前1時頃、鎌倉市浄明寺2丁目地内で水道管の漏水事故が発生しました。原因となった水道管は、昭和39年に布設された直径25cmの鉄管です。管の継ぎ手部のボルトが腐食により破損し、離脱したことによるものでした。この修理のため、鎌倉市内の一部の区域で約1万戸が9時間にわたり断水しました。

県では総勢129名の職員が対応にあたり、濁った水の排出作業を行い、当日中に復旧することができました。また、鎌倉市等の関係機関の協力を得ながら、給水車19台により10か所で応急給水を行うとともに、

給水所へ来られない方には応急給水袋をお届けするなどしました。

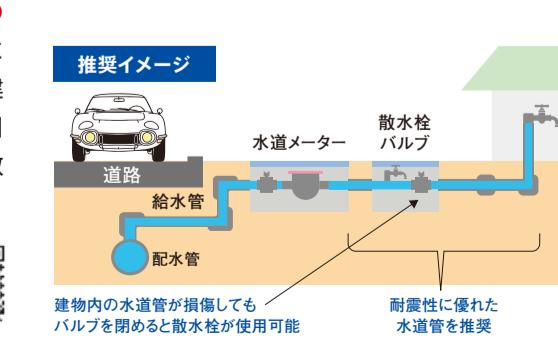
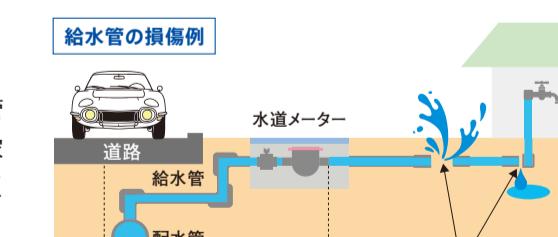
この事故により、住民の方々、飲食店や観光施設、さらには多くの観光客の皆様にも多くなご迷惑とご不便をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。今回、事故の原因となった現場の鉄管は、昨年度から更新工事を進めていたところですが、着実に工事を実施し、令和8年度中の完成を目指していきます。



宅地内も地震に強い水道管へ

過去の大きな地震では、宅地内の水道管の継ぎ手が抜けたことで漏水が発生し、ご家庭の蛇口から水が使用できない状況が続く事例がありました。

そこで、建物の新築やリフォームの際には、宅地内の水道管を耐震性の高いねじ込みの継ぎ手や伸び縮みする継ぎ手等とすることについてご検討ください。また、災害などで建物の中の水道管が損傷しても、配水管が復旧した際に庭先で水道水が使用できるよう、散水栓とバルブの設置もおすすめします。



神奈川県営水道 宅地内耐震管

検索

水道管は寒さが苦手

寒さが厳しくなる12月から2月は、水道管内の水が凍結し管が破裂することがあります。

水道管を凍結から守るためには、本格的に寒くなる時期を迎える前に、屋外の水道管や蛇口に保温材・布切れなどを巻き付けてください。また、水道メーターの凍結防止のために毛布やタオルをメーターボックスに入れるなど、しっかりと備えることが大切です。



詳しくは、県営水道のホームページをご覧ください。

神奈川県営水道 凍結対策

検索